

マーケットの動き（2023年4月10日～4月14日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。発表された3月の米国物価指標やFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事要旨の内容を受け米国のインフレ鈍化観測が広がったことで、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ長期化に対する警戒感が後退しました。米国著名投資家による国内株式への強気な発言や国内大手製造小売企業の好決算なども好材料となり、日経平均株価は週を通して上昇基調となりました。

投資環境見通し（2023年4月）

国内株式相場は底堅く推移

企業業績にとって、中国の経済活動再開がプラスとみられますが、世界的な金融システム不安による信用収縮の影響が下押し圧力になるとみられます。国内株式相場は、欧米を中心とした信用収縮に伴う景気の先行きに対する懸念に加え、次期日銀総裁の下で政策修正に対する警戒感が下押し圧力になるとみられます。一方で、中国景気が早期に回復するとの見方に加え、投資家による国内景気の底堅さを評価する動きも見込まれることから、次第に底堅く推移するとみています。

	4月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,018.72	2.71%	3.65%	6.35%	5.80%
日経平均株価	28,493.47	3.54%	4.67%	5.18%	4.86%

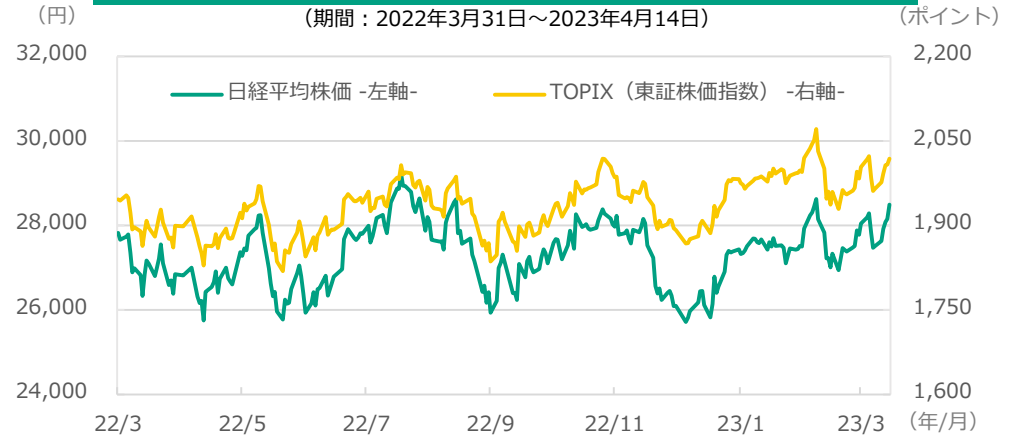
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

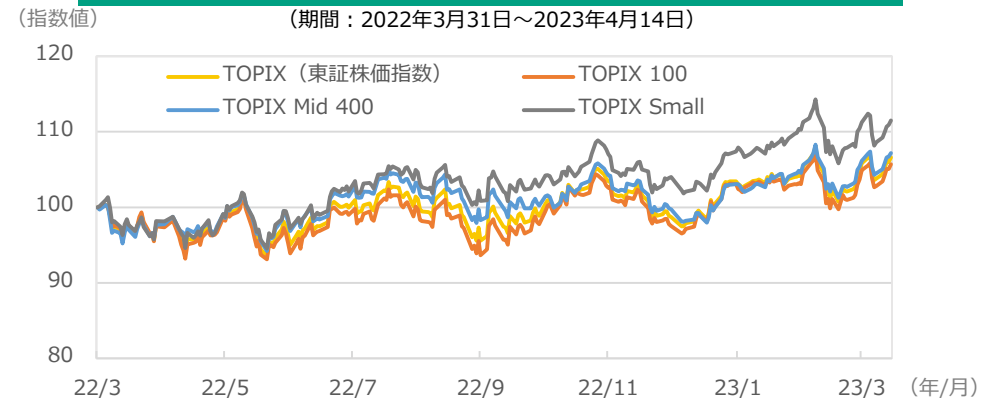
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202304_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2022年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成